allcinema

最後の銃撃（1956）

THE LAST HUNT

メディア 映画
ジャンル 西部劇
製作国 アメリカ
時間 108分
初公開日 1956/11/14
公開情報 ＭＧＭ

【解説】
７０年代の“西部劇への挽歌”映画の匂いも微かにする異色のウエスタン。ハリウッドの中ではリアリストで通るＲ・ブルックスのハード・ボイルドなタッチが如何なく発揮された。描かれるのは、１８８０年代、数少なくなった野生のバッファローをダコタ地方に追う狩人たちの凄ぎあい。珍しくテイラーが悪漢に扮している。ラスト・シーンは結構ショッキング。

【クレジット】

監督	リチャード・ブルックス	Richard Brooks	
製作	ドア・シャリー	Dore Schary	
原作	ミルトン・ロット	Milton Lott	
脚本	リチャード・ブルックス	Richard Brooks	
撮影	ラッセル・ハーラン	Russell Harlan	
音楽	ダニエル・アンフィシアトロフ	Daniele Amfitheatrof	
出演	ロバート・テイラー	Robert Taylor	チャールズ・ギルソン
	スチュワート・グレンジャー	Stewart Granger	サンディ・マッケンジー
	ロイド・ノーラン	Lloyd Nolan	ウッドフット
	デブラ・パジェット	Debra Paget	インディアンの少女
	ラス・タンブリン	Russ Tamblyn	ジミー・オブライエン
	コンスタンス・フォード	Constance Ford	ペグ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.